

伊豆山地区の災害の概要

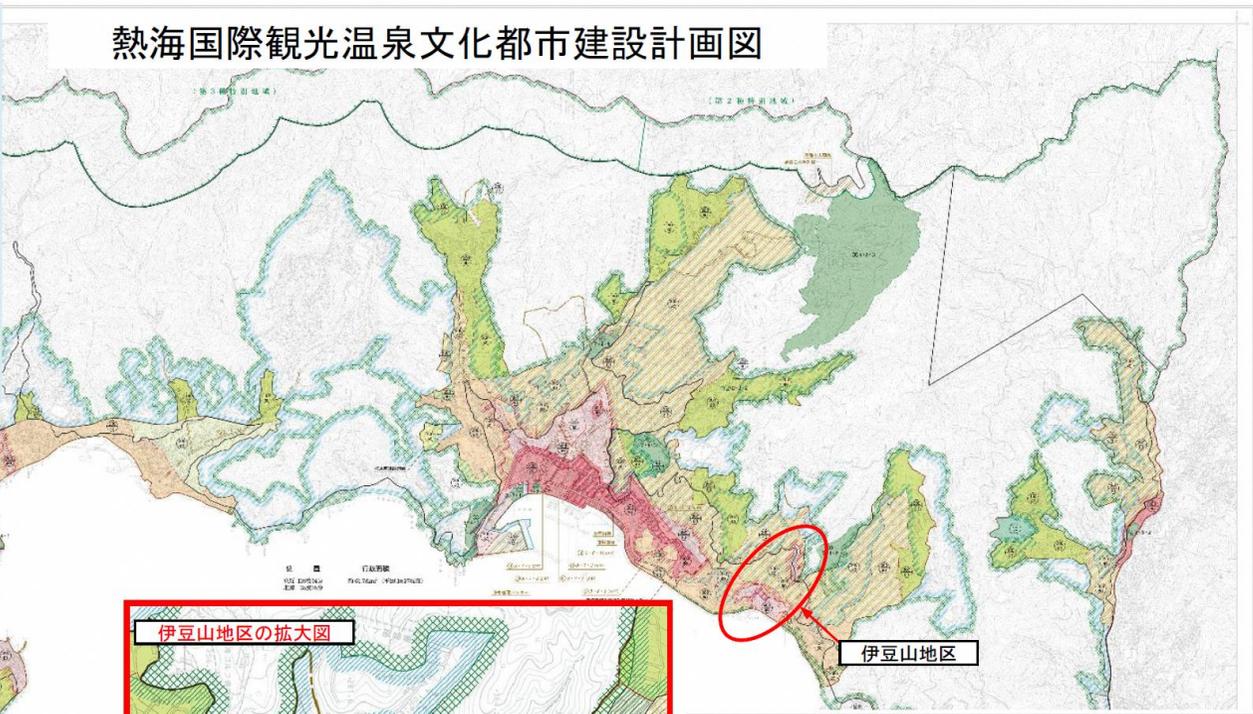
令和4年2月25日

熱海市

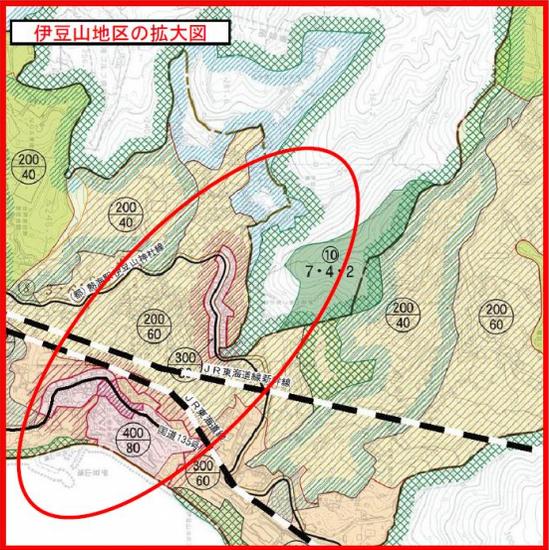
1. 位置図 (広域)



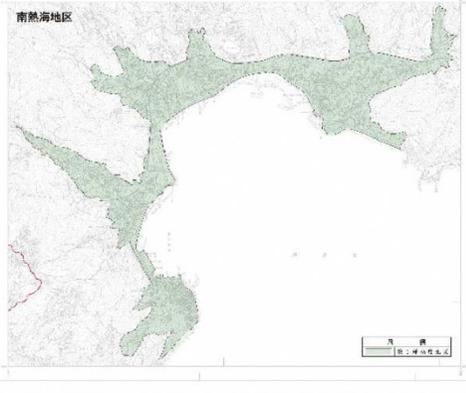
熱海国際観光温泉文化都市建設計画図



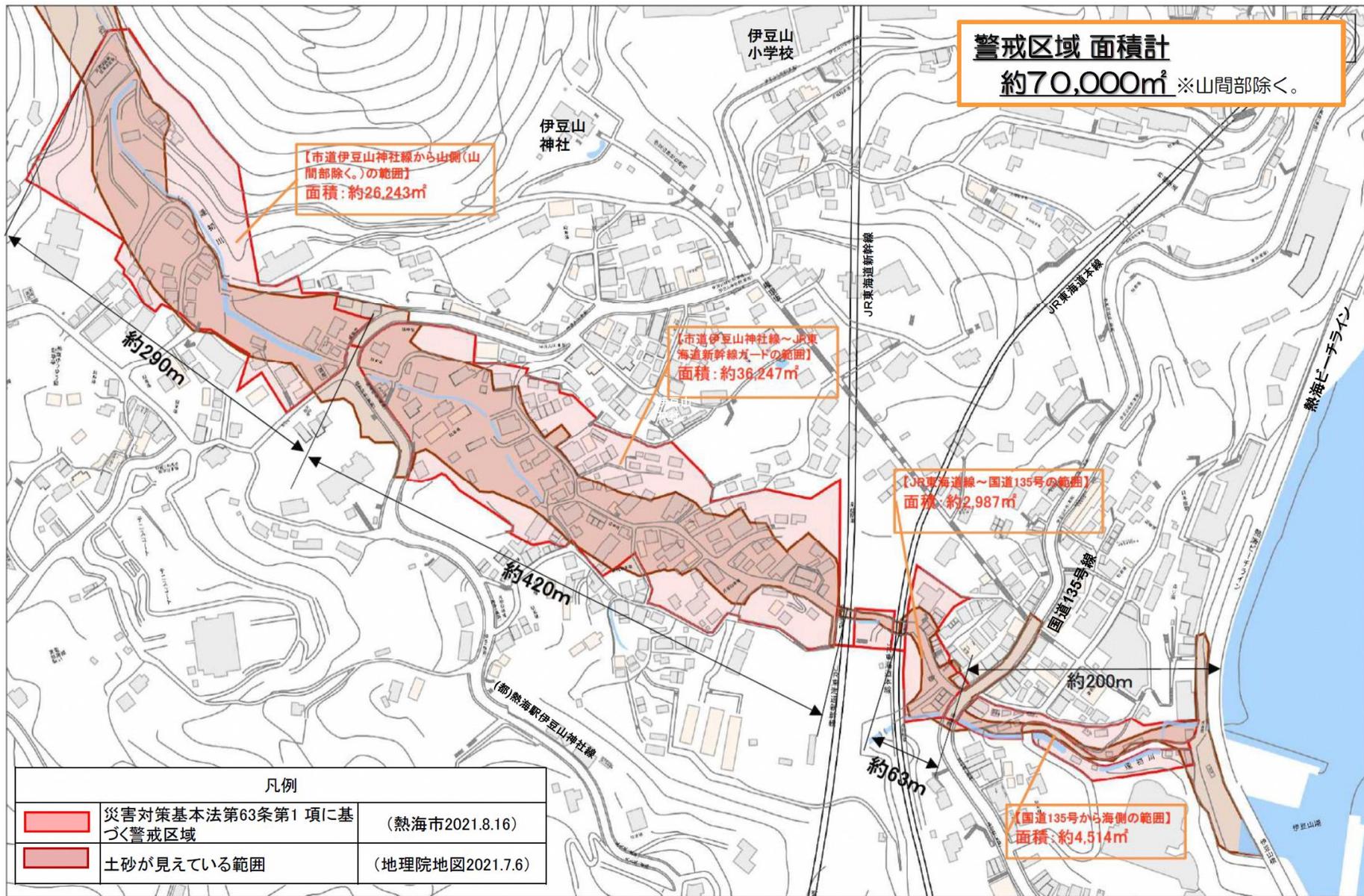
- 用途地域
- ① 第一種低層住居専用地域
 - ② 第一種中高層住居専用地域
 - ③ 第二種中高層住居専用地域
 - ④ 第一種住居地域
 - ⑤ 第二種住居地域
 - ⑥ 近隣商業地域
 - ⑦ 商業地域
 - ⑧ 第一種風致地区
 - ⑨ 第二種風致地区
 - ⑩ 臨港地区
 - ⑪ 防火地域
 - ⑫ 準防火地域
 - ⑬ 第一種都市計画区域
 - ⑭ 第二種都市計画区域
 - ⑮ 特別用途地区(第一種)
 - ⑯ 特別用途地区(第二種)
 - ⑰ 国土利用計画
 - ⑱ 国土利用計画
 - ⑲ 国土利用計画
 - ⑳ 国土利用計画
 - ㉑ 国土利用計画
 - ㉒ 国土利用計画
 - ㉓ 国土利用計画
 - ㉔ 国土利用計画
 - ㉕ 国土利用計画
 - ㉖ 国土利用計画
 - ㉗ 国土利用計画
 - ㉘ 国土利用計画
 - ㉙ 国土利用計画
 - ㉚ 国土利用計画
 - ㉛ 国土利用計画
 - ㉜ 国土利用計画
 - ㉝ 国土利用計画
 - ㉞ 国土利用計画
 - ㉟ 国土利用計画
 - ㊱ 国土利用計画
 - ㊲ 国土利用計画
 - ㊳ 国土利用計画
 - ㊴ 国土利用計画
 - ㊵ 国土利用計画
 - ㊶ 国土利用計画
 - ㊷ 国土利用計画
 - ㊸ 国土利用計画
 - ㊹ 国土利用計画
 - ㊺ 国土利用計画
 - ㊻ 国土利用計画
 - ㊼ 国土利用計画
 - ㊽ 国土利用計画
 - ㊾ 国土利用計画
 - ㊿ 国土利用計画



凡		例	
用途地域		第一種低層住居専用地域	都市施設
		第一種中高層住居専用地域	
		第二種中高層住居専用地域	
		第一種住居地域	
		第二種住居地域	
		近隣商業地域	
		商業地域	
		第一種風致地区	
		第二種風致地区	
		臨港地区	
特別用途地区		防災地域	地区計画
		準防火地域	
その他の地域地区		第一種風致地区	都市計画
		第二種風致地区	
		都市計画道路	都市計画
		都市計画公園	
		都市計画緑地	公共下水道計画区域
		公共下水道計画区域	
		その他の都市施設	地区計画
		地区計画	
		都市計画区域	都市計画
		国立公園	
		宅地造成工事規制区域	都市計画
		容積率 建ぺい率	



1. 位置図 (伊豆山地区)



2. 被害状況等 (被災概要・人的被害・建物被害)

(1) 被災概要

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点（海岸から約2km上流）から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

(2) 人的被害 (令和4年2月9日現在)

区分	人数	備考
死者	27人	死者、行方不明者の区分名は、消防庁災害報告取扱要領による区分（直接死26名、関連死1名、計27名）
行方不明者	1人	
重傷者	1人	
軽傷者	3人	

(3) 建物被害 (令和4年1月1日現在)

被害状況	棟数(棟)	世帯数(世帯)	世帯員数(人)	罹災証明発行件数(件)	備考
全壊	53	76	135	64	死亡世帯10人、行方不明世帯1人
大規模半壊	6	5	15	5	
中規模半壊	1	1	3	1	
半壊	4	6	11	6	
準半壊	8	10	17	10	
一部損壊	26	44	74	44	準半壊に至らないもの
無被害(警戒区域内)	34	39	49	38	未調査(無被害と見込まれる住家)、不明(無被害と見込まれるが住家の特定できない)
計	132	181	304	168	

2. 被害状況等 (災害対策に係る災害対策本部・避難指示発令の状況)

(4) 災害対策に係る災害対策本部、法令適用等

日時	内容
7月3日 10:30頃	発災
7月3日 10:35	熱海市災害対策本部を設置
7月3日 12:00	静岡県災害対策本部を設置
	自衛隊に派遣要請
7月3日 12:35	第1回熱海市災害対策本部会議 ※以降9/3までに計49回開催
7月3日 13:30	消防庁に緊急消防援助隊を出动要請
7月3日 15:30	災害救助法の適用を公示
7月9日	被災者生活再建支援法の適用を公示
7月18日 14:00	緊急安全確保区域の変更及び捜索活動と生活再建等を優先する区域の設定
7月26日 14:00	緊急消防援助隊撤収
7月31日 12:00	自衛隊災害派遣部隊撤収
7月31日 12:00	立入禁止区域の見直し
8月16日	災害対策基本法第63条に基づく警戒区域の設定

(5) 避難指示発令の状況

日時	情報種別
7月2日 10:00	高齢者等避難 (警戒レベル3)
7月3日 10:30頃	発災
7月3日 11:05	緊急安全確保 (警戒レベル5)
7月3日 15:30	災害救助法4号適用
7月7日 14:50	伊豆山以外: 高齢者等避難 (警戒レベル3) 伊豆山: 緊急安全確保 (警戒レベル5)
7月12日 12:00	伊豆山以外: 解除 伊豆山: 緊急安全確保 (警戒レベル5)
7月18日 14:00	伊豆山: 緊急安全確保区域の変更

2. 被害状況等 (避難所の開設状況)

(6) 避難所の開設状況 (各避難所の避難者数 (ピーク))

※ピーク時：避難者582人 (7/11時点)

区分	避難所名	開設期間	避難者数(人)	備考
指定避難所	泉小中学校	7/3~7/7	40	7/4 7:00頃
	伊豆山小学校	7/3	約50	7/3、Aホテルへ移動
	熱海中学校	7/3~7/5	51	7/4 7:00頃
	第一小学校	7/3~7/7	15	7/6 12:00頃
	第二小学校	7/3~7/5	3	7/4 7:00頃
	上多賀会館	7/3~7/5	0	
	多賀小学校	7/3~7/7	0	
	多賀中学校	7/3~7/5	0	
	網代公民館	7/3~7/5	0	
	南熱海支所	7/3~7/5	8	7/4 7:00頃
	福祉センター (中央公民館)	7/3~7/5	77	7/4 7:00頃

区分	避難所名	開設期間	避難者数(人)	備考
指定避難所以外	伊豆山浜会館	7/3~7/5	20	7/4 11:00頃
	仲道公民館	7/3~7/5	30	7/4 11:00頃
	Aホテル	7/3~7/5	90	7/4 11:00頃
	Bホテル	7/3~7/5	24	7/4 11:00頃
	Cホテル	7/3~7/5	40	7/4 11:00頃
	Dホテル	7/4~7/20	527	7/11 12:00頃
	Eホテル	7/4~7/12	55	7/5~7/11
	Fホテル	7/20~9/15	188	7/24 12:00頃
	Gホテル	7/20~8/7	148	7/26 12:00頃
	Hホテル	8/7~8/28	17	8/7 16:00頃
	Iホテル	9/15~10/21	73	9/16 12:00頃

2. 被害状況等 (道路状況)

(7) 道路状況

路線名	区間	規制状況	備考
十国峠伊豆山線	熱海市泉～熱海市泉	7/3 10:45～全面通行止(冠水) 7/3 19:00 解除	
伊豆山神社線	熱海市伊豆山(岸谷バス停～仲道バス停付近)	7/3～通行止め 10/11 10:00 解除	
国道135号	熱海市中央町(中央町交差点)～神奈川県境(門川交差点)	7/3 12:00～全面通行止(土砂流出) 7/29 15:00 規制解除	当面の間、下記いずれかを観測した場合は通行止め ①降雨量：60分雨量10mm以上を3時間(20mm以上は1時間)または連続雨量100mm観測した場合 ②地盤伸縮計：移動量2mm/h以上
熱海ビーチライン	全線	7/3～通行止め 7/8 9:00～7/14 12:00 緊急車両と地元住民に限り通行可能 7/14 12:00～7/29 24:00 国道135号の通行規制が解除されるまでの間、一般車両も対象に無料開放 7/30 00:00～ 国道135号の規制解除に伴い、通常営業再開	

2. 被害状況等 (交通状況)

(8) 交通状況

種別	路線	区間	規制状況
東海バス	伊豆山・湯河原駅線	全区間	7/3 ~ 運休 7/15~「伊豆山~湯河原駅」は、運行再開。「熱海駅~伊豆山」は運休 7/30~「熱海駅~湯河原駅」は、再開。「熱海駅~伊豆山」折り返し便は運休 11/22~ 運行本数を見直し、運行再開
	七尾原循環	全区間	7/3 ~ 運休 7/14午後~ 熱海ビーチライン経由で運行再開 7/20~「折越」バス停を臨時「伊豆山小学校(折越)」バス停として乗車・降車の取り扱い開始。本来の「伊豆山小学校」バス停は経由せず。臨時伊豆山小学校から春日町の間は両バス停を除き乗車・降車不可。桃山~伊豆山小学校間は運休 10/17~ 国道135号を迂回して、臨時ダイヤで運行 11/22~ 運行間隔を見直し、運行再開
	紅葉ヶ丘~郵便局・熱海駅~伊豆山循環	熱海駅~逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前~熱海駅	7/3 ~ 運休 7/19~ 紅葉ヶ丘~熱海郵便局~熱海駅間のみ運行 10/17~ 臨時ダイヤで運行 11/22~ 運行本数を見直し、運行再開
	熱海駅~伊豆山循環~紅葉ヶ丘・ひばりヶ丘線	熱海駅~逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前~熱海駅	7/3 ~ 運休 7/19~ 熱海駅~咲見町~紅葉ヶ丘/ひばりヶ丘間のみ運行 10/17~ 臨時ダイヤで運行 11/22~ 運行本数を見直し、運行再開
伊豆箱根バス	熱海箱根線	全区間	7/3 ~ 運休 7/15 13:00~ 通常ルートにて運行再開
鉄 道	JR東海道新幹線		7/3~ 一部で遅れ 7/4 13:00現在 平常どおり
	JR東海道本線	小田原~熱海 熱海~三島	7/3~ 運転見合わせ 7/4 18:00現在 平常どおり運行
	JR伊東線	全域	運転見合わせ(線路支障) 7/4 9:00現在 運転再開

2. 被害状況等 (ライフライン)

(9) ライフライン

管 轄	地区及び状況	日 時	戸数・件数	備 考
東 京 電 力	熱海市（伊豆山、泉元宮上分、泉、桃山町）で停電	7/3 10:26～	2,830	7/3 復旧
	伊豆山地区の被災地域の一部で供給不可	7/6 9:00～	—	7/7 9:00現在 被災家屋以外は復旧済み
熱海市公営企業部 水道温泉課	伊豆山地区の一部で断水	7/3 10:30～	1,074	7/4～ 応急給水として、簡易水槽を設置（計6か所）、給水車4台によるピストン搬送 7/10 すべての簡易水槽は撤去、給水パックでの供給に切替え 7/16 までに通水した件数804件、復旧不能件数198件、その他72件 8/17 12:00時点、復旧不能件数100件（その他の家屋は復旧済み）
熱海市公営企業部 下水道課	伊豆山地区の被災地域の一部で通水不可	7/5 9:00～	61	9/1時点 応急復旧戸数28戸、通水不可戸数33戸、被害状況詳細調査中
熱 海 ガ ス	伊豆山の一部、海光町の一部で供給停止	7/4 17:00～	392	
	伊豆山の一部で供給停止	7/6 16:00～	253	7/14 16:00 家屋の流出等により居住が困難な地域（147戸）を除き供給可能（432戸）

2. 被害状況等 (捜索活動)

(10) 捜索活動

関係機関	活動部隊	活動状況等
自衛隊	陸上自衛隊	活動期間：7/3～29 (27日) 活動人員：延べ約8,700人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助ほか
	航空自衛隊	活動期間：7/4～15 (12日) 活動人員：延べ約600人 活動状況：行方不明者の捜索ほか
消防	熱海市消防本部	活動期間：7/3～8/3 (32日) 活動人員：延べ約2,800人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助、救急搬送ほか
	熱海市消防団	活動期間：7/3～8/3 (32日) 活動人員：延べ約5,800人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助ほか
	静岡県大隊	活動期間：7/3～8/3 (32日) 活動人員：延べ約4,500人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助ほか
	緊急消防援助隊 (県外応援部隊)	活動期間：7/4～25 (22日) 活動人員：延べ約7,800人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助ほか
海上保安庁	海上保安部	活動期間：7/3～8/3 (32日) 活動人員：延べ約80人 活動状況：海上の捜索、救出・救助ほか
警察	静岡県機動隊 管区機動隊 方面機動隊	活動期間：7/3～ 活動人員：延べ約27,000人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助、遺体検案、被災地の交通整理ほか
	広域緊急援助隊 (県外応援部隊)	活動期間：7/4～7/29 (26日) 活動人員：延べ約4,400人 活動状況：行方不明者の捜索、救出・救助ほか



自衛隊(引き揚げ報告の様子)



消防(引き揚げ報告の様子)



法務省(引き揚げ報告の様子)



警察(交通規制の様子)

提供 熱海警察署

2. 被害状況等

(災害ボランティア・静岡県・市町職員の応援派遣・仮設住宅入居状況・長期避難世帯)

(11) 災害ボランティア

関係機関	活動状況等
活動ボランティア	活動期間：7/21～ 活動人員：延べ894人（9月26日現在） 活動状況：土砂撤去、引っ越しほか



(12) 静岡県・市町職員の応援派遣

関係機関	活動状況等
県職員	活動人員：延べ727人（9月30日まで） 活動状況：市災害対策本部運営、避難者の健康管理、建物被害認定調査ほか
市町職員	活動人員：延べ1,031人（10月1日まで） 活動状況：市災害対策本部運営、避難者の健康管理、建物被害認定調査ほか



(13) 仮設住宅入居状況

住宅種類	世帯数（世帯）	世帯員数（人）
公営住宅（県営・市営）	31	51
借上型応急住宅	72	141
合計	103	192

(14) 長期避難世帯

日付	内容	世帯数（世帯）
令和3年12月16日	被災者生活再建支援法に基づく長期避難世帯の認定	82

2. 被害状況等

＜災害対策本部から復興推進本部へ＞

9月22日、発災時に設置した災害対策本部を廃止し、
新たに伊豆山復興推進本部を設置。

経営企画部企画財政課内に専任職員2名を配置した。

2. 被害状況等

ホテル避難所の選定

- ⇒ 避難生活の長期化を懸念
- ⇒ 避難者の負担軽減
- ⇒ 高齢者の方や身体のご不自由な方への配慮
- ⇒ 新型コロナウイルス感染予防、熱中症対策
- ⇒ 避難者多数、避難所を集約することで被災者支援を充実

職員からホテル避難所の提案を受け、市長が了承し実現

2. 被害状況等 (ホテル避難所について)

ホテル避難所 開設期間：7月4日から10月21日までの110日間

避難所運営への支援団体

静岡県被災者支援コーディネーター、静岡県災害派遣チームDMAT、DPAT、DWAT
保健所、市保健師、市社会福祉協議会、町内会、市内ボランティア団体など。

ホテル避難所の課題

- ⇒ 避難所の自主運営
- ⇒ 避難者の健康観察や高齢者の認知症の予防
- ⇒ 部屋が個室であることから、コミュニケーション不足

2. 被害状況等 (各種支援)

健康体操などの実施

⇒ D W A T とボランティア団体や社会福祉協議会、保健師などにより、健康体操・健康相談を実施

社会福祉協議会による「お困りごとの相談」(部屋に個別訪問)

⇒ コミュニケーション不足の解消

⇒ 認知症の予防

⇒ 被災者のニーズを把握

⇒ 発災直後から精神医療チーム「D P A T」による心のケア「健康相談」

2. 被害状況等 (支援物資受け入れ)

全国の皆様からの支援物資受け入れの課題

- ⇒ 支援物資の保管場所を確保できない。
- ⇒ 避難所への支援物資を輸送する手段を確保したい。
- ⇒ 発災後のホテル避難所から新たなホテル避難所へ、避難者約400名分の荷物の輸送手段を確保したい。

2. 被害状況等 (災害支援物資の輸送等)

災害支援物資の輸送等業務を運送会社に一括して委託

- ⇒ 運送会社で支援物資の受け入れ
- ⇒ 運送会社の倉庫内で、支援物資を保管・管理
- ⇒ ホテル避難所への支援物資の輸送
- ⇒ ホテル避難所から新たなホテル避難所へ、避難者の荷物を輸送

3. 土石流による被害状況等

源頭部の崩壊状況



逢初川



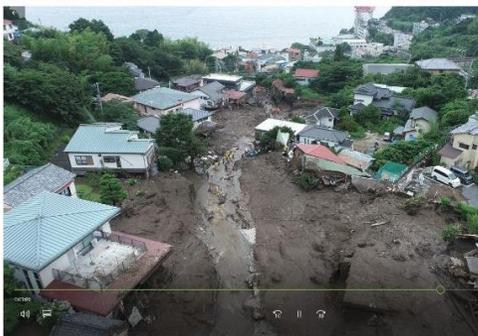
源頭部の状況



下流の被害状況



逢初橋付近の状況

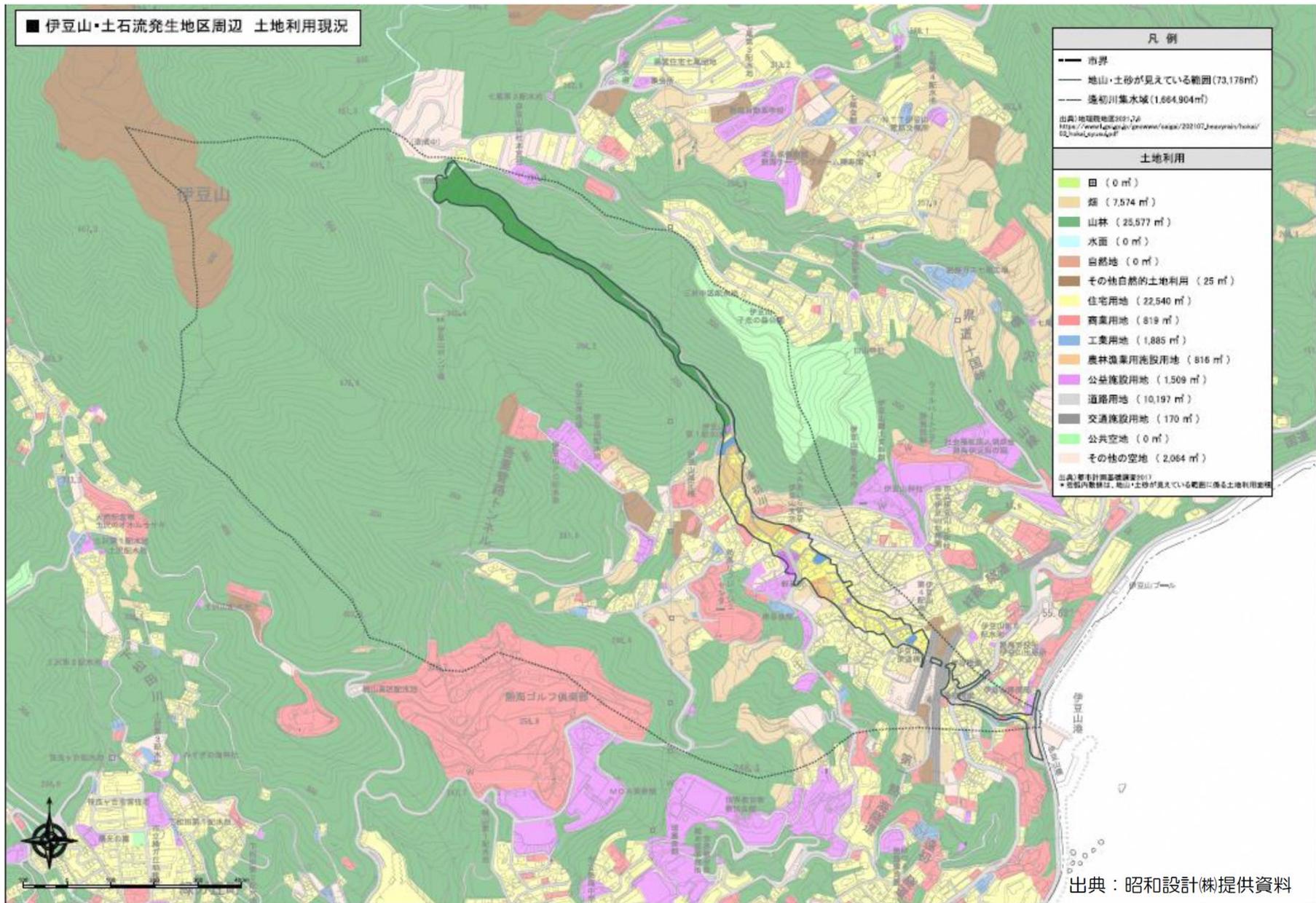


7月30日撮影

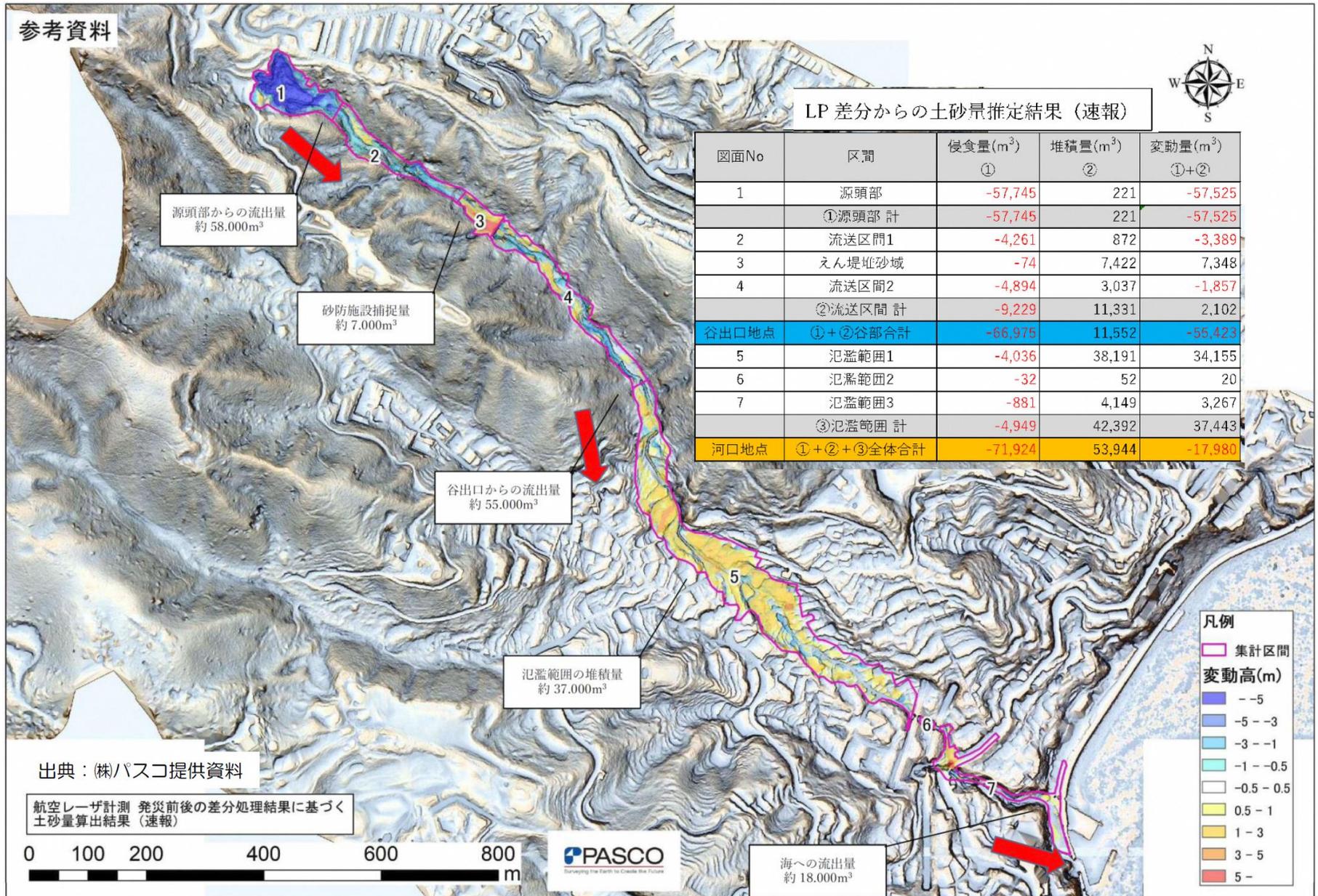
3. 土石流による被害状況等



3. 土石流による被害状況等



3. 土石流による被害状況等



4. 国土交通省・静岡県の対応状況

静岡県熱海市伊豆山 逢初川で発生した土石流災害に対する対応状況

国土交通省 砂防部

令和3年7月12日 17:00現在

- 土砂災害専門家が現地調査。斜面監視装置の設置や、捜索作業中止判断基準の提案等、技術的助言を実施。(7月4日～)
- TEC-FORCEによる監視カメラ4基の設置完了。静岡県や熱海市等の関係機関とカメラ画像を共有。(7月5日～)
- 土砂災害専門家の助言を受け、静岡県が雨量計や崩壊地上部に斜面の変動状況を計測するための伸縮計を設置。(7月7日)
- 静岡県が「逢初川土石流災害対策検討委員会」を立ち上げ。県からの要請により、国土技術政策総合研究所土砂災害研究部 砂防研究室長と中部地方整備局総合土砂管理官が委員会に参画。(7月7日)
- 斜面の監視観測結果等とエリアメール(市内全域)やサイレン、回転灯を組み合わせた監視警戒体制を構築。(7月9日)

【監視警戒体制】

降雨量が基準値を超えた場合、監視カメラで土石流の発生の恐れがある場合、及び地盤伸縮計で基準値以上の変状の進行が確認された場合には、エリアメールやサイレン、回転灯で危険性を周知。

伸縮計設置位置



伸縮計設置状況



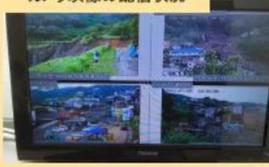
凡例 ○: 監視カメラ

●: 伸縮計

■: 雨量計

---: 逢初川の被災前の流路(推定)

カメラ映像の配信状況



照明車により夜間も監視可能



雨量計設置状況



サイレン等の設置状況



4. 国土交通省・静岡県の対応状況

国直轄施工による緊急的な砂防工事の概要

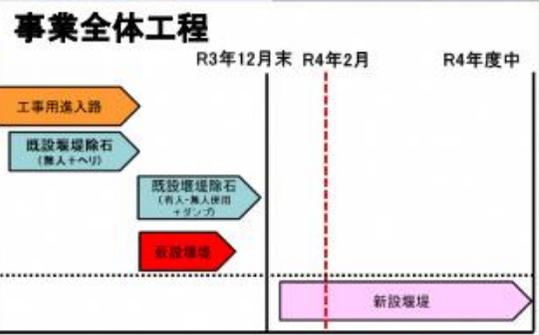
国土交通省
【機密性2】



【逢初川水系逢初川】
静岡県熱海市伊豆山地区
○令和3年7月3日土石流災害による被害状況
 ・人的被害: 31名【死者(災害関連死1名含む)27名、負傷者3名、行方不明者1名】
 ・人家被害: 被害棟数98棟(全壊53棟、半壊11棟、一部破損34棟)
 ※令和4年2月10日時点

○主な対策
 ・既設砂防堰堤の除石、砂防堰堤の新設、仮設堰堤等

仮設ブロック堰堤
(令和3年12月2日完了)



既設砂防堰堤の除石
(令和3年12月23日完了)



砂防堰堤の新設
(施工イメージ)



ネットロール土のう
(令和4年2月16日完了)



※実施内容は現地の状況により変更する場合があります

4. 国土交通省・静岡県の対応状況

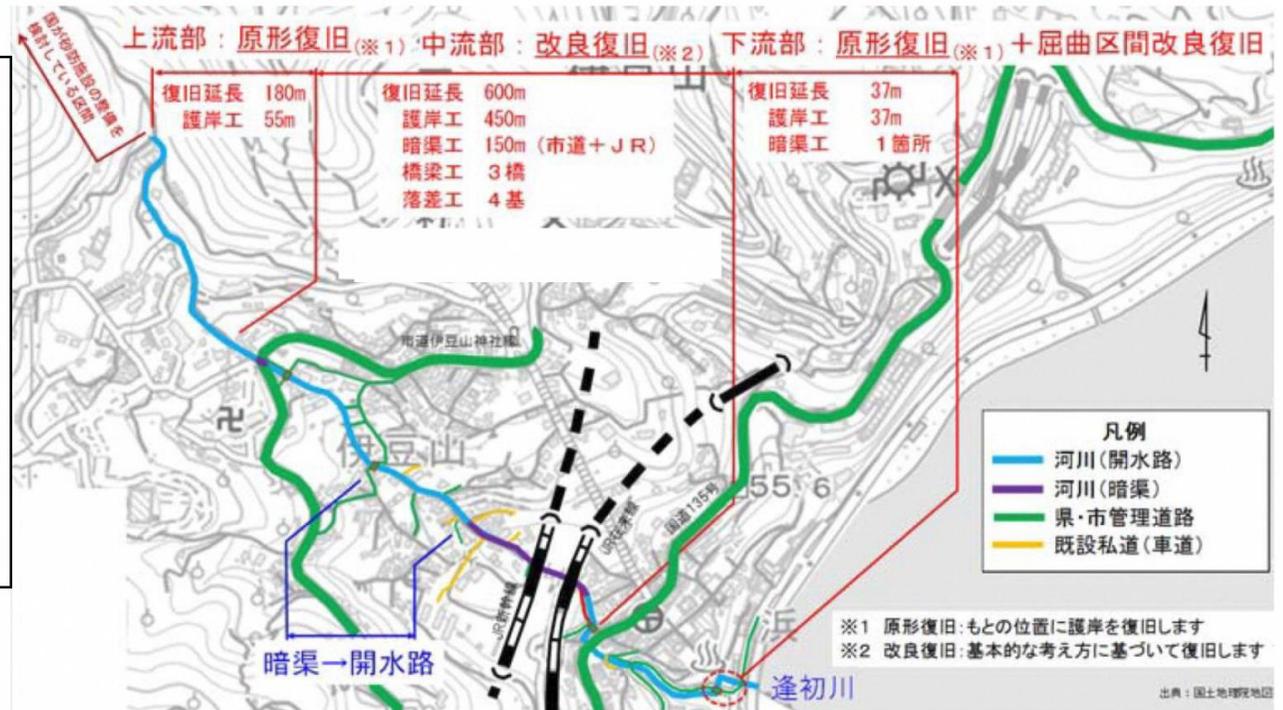
静岡県 熱海土木事務所

逢初川の復旧

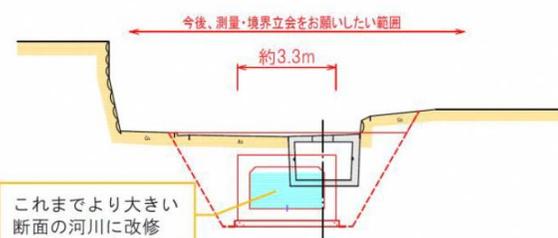
5つの基本的な考え方に基づき復旧する。

- ①現在の河川の位置を基本とし、なるべく緩やかなカーブにする。
- ②川幅が小さい箇所を広くする。
- ③開水路を基本とする。(JRをくぐる区間の前後は暗渠)
- ④勾配を全体的に少し緩くする。
- ⑤河岸や川底はコンクリート構造とし、川底に石を張る等、景観に配慮する。

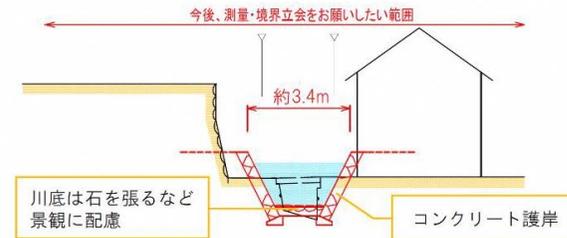
今後のスケジュールは、測量、設計、用地境界の確認、補償に係る契約等を行い、令和5年8月の工事完了を目指す。



横断イメージ (暗渠部)



横断イメージ (開水路)



【参考】熱海市都市計画マスタープラン 抜粋

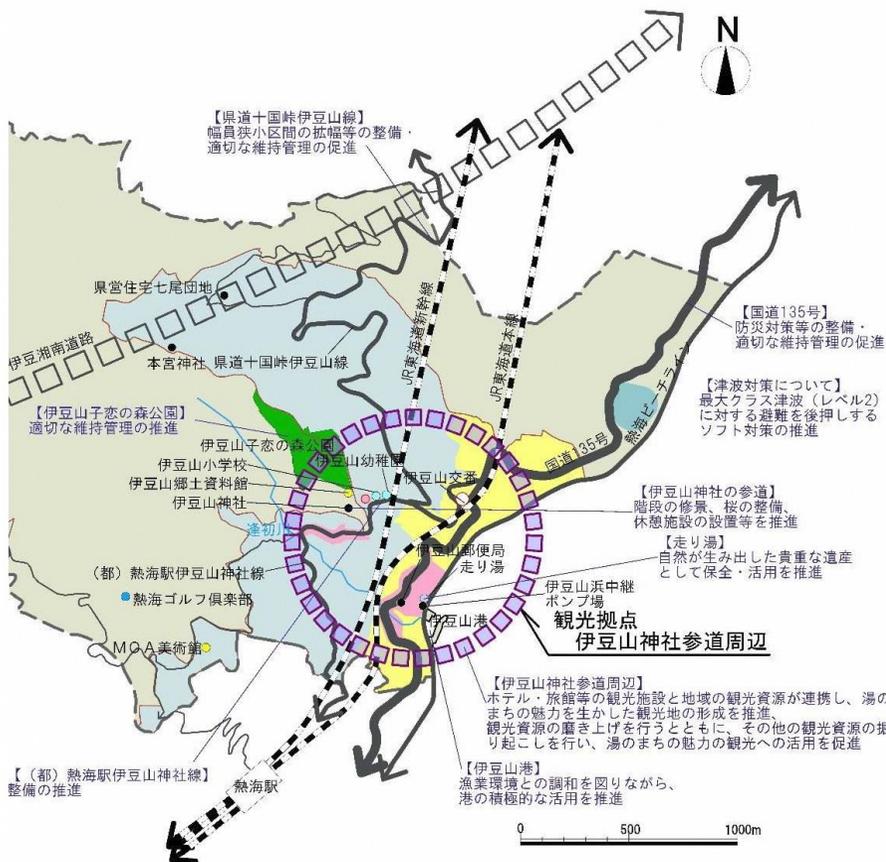
伊豆山地域まちづくり構想

まちづくりのテーマ：

『由緒ある地域資源を生かした情緒的な街並みを創出し暮らしと観光が調和した地域・伊豆山』

まちづくりの課題：

- 歴史ある温泉観光地として、伊豆山神社参道周辺の街並みや地域内に点在する歴史文化資源等、地域の魅力を生かした観光まちづくりが求められます。
- 地域住民が集い憩える身近な公園・広場の整備が求められます。
- 狭い道路と住宅密集地の改善、災害に強い住宅地づくり等、良好な住環境の形成が求められます。
- 生活道路の整備・充実、安全で快適な歩行者空間づくり等、安全・安心な地域内外の円滑な移動環境の確保が求められます。
- 公園等の防災面における活用、既存の環境資源を活用した整備、身近な公園や子どもの遊び場の整備等、緑を生かした魅力的な地域の形成が求められます。



まちづくりの柱1：

伊豆山浜周辺等を中心とした良好な住環境の形成による観光と生活が調和したまちづくり

- ① 伊豆山浜周辺・伊豆山神社周辺は、「地区計画」の活用や「まちづくり条例」に基づく「地区まちづくり計画」の活用によるまちづくりへの取組みを促進することで、良好な観光・商業環境の創出を推進
- ② 公共施設等については、選択と集中による施設の適正化、適切な維持管理・修繕・更新等を推進
- ③ 消防車等の緊急車両の進入が困難な区域の解消、交通事故防止等の安全面への配慮、狭い道路の整備・改良を推進
- ④ 地域住民・観光客を対象として、防災対策をハード・ソフトの両面から推進
- ⑤ 地域内の公園・広場等を一時避難場所として活用できるよう、防災機能の充実を推進

まちづくりの柱2：

伊豆山神社参道周辺を拠点とした湯のまちの温泉情緒あふれる観光まちづくり

- ① 伊豆山神社参道周辺は、ホテル・旅館等の観光施設と地域の観光資源が連携し、湯のまちの魅力を生かした観光地の形成を推進
- ② 走り湯・浜浴場・足湯・般若院の足湯等の地域資源等の観光資源の磨き上げや観光資源の掘り起こし
- ③ 観光拠点と周辺の観光資源の連携により、観光客の周遊性向上を推進
- ④ 伊豆山神社・逢初橋等の歴史文化資源の観光への活用を推進
また、伊豆山神社の参道については、階段の修景、桜の整備、休憩施設の設置等を推進
- ⑤ 伊豆山港は、漁業環境との調和を図りながら、港の積極的な活用を推進

まちづくりの柱3：

伊豆山浜周辺の温泉地らしい景観や伊豆山子恋の森公園等の保全・活用による景観・環境まちづくり

- ① 伊豆山浜周辺の観光商業地は、快適な歩行者空間をつくることで、由緒ある温泉地らしい景観の保全・創出を推進
- ② 急峻な地形形状を活用した海への良好な眺望景観を保全するとともに、地形や斜面緑地に馴染んだ街並みづくりを推進
- ③ 伊豆山神社周辺の観光商業地は、身近な生活拠点としての、にぎわい景観づくりを推進
- ④ 地域の身近な場所からの良好な眺望景観の保全・活用を推進
- ⑤ 地域住民が集まる身近な公園、広場、緑地等の整備や維持管理を官民連携により推進

まちづくりの柱4： 地域住民・事業者・市民活動団体等が積極的に協働するまちづくり

その他関連計画：熱海市観光基本計画2021

伊豆山温泉郷は、伊豆山神社や走り湯など歴史に彩られたみどり豊かな保養地としてのまちづくりを行い、さらに歴史的な資源や文化的な資源を発掘、PRすることで誘客を図ります。また、このエリアの自然環境や点在する文化施設を有機的に結びつけるためのウォーキング・ハイキングコースの整備を推進